

予 算 要 求 資 料

令和 3 年度 12 月補正予算 支出科目 款：警察費 項：警察管理費 目：警察本部費

事業名 警察広報充実費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 総務室 広報県民課 電話番号：058-271-2424 (内 2161)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 1,747 千円 (現計予算額：3,015 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現計 予算額	3,015	3,015	0	0	0	0	0	0	0
補正 予算額	1,747	0	0	0	0	0	0	0	1,747
決定額	1,747	1,747	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県警マスコットキャラクターの着ぐるみは、各種広報啓発活動イベントにて、場を盛り上げる存在として欠かせないものであるが、コロナ禍において、県民と警察とのふれあいを深めるとともに、明るく開かれた警察の姿をアピールし、警察活動への理解と協力を得る機会を確保しつつ、着ぐるみを活用していくには、新型コロナウイルス感染症対策として消毒等を行い、衛生面に十分な対策を講じて活用を図っていく必要がある。

また、県警音楽隊は県民と警察を繋ぐ「音の架け橋」の役割を担い、日々訓練を行っているが、コロナ禍でも訓練を継続できるよう環境を整備する必要がある。

(2) 事業内容

県警の新マスコットキャラクターである「ライ」と「レン」の着ぐるみを現在の1組から2組に増やし、広報活動機会を維持する。

また、県警音楽隊がコロナ禍でも訓練できるようサーキュレーターを整備する。

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県警察の活動に対する理解と協力を確保するため、広く県民に情報を提供する広報活動を実施していくための事業を支える着ぐるみ及び県警音楽隊の新型コロナウイルス感染症対策であり、県負担は妥当である。

- (4) 類似事業の有無
無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	152	サーキュレーターの整備
備品購入費	1,595	着ぐるみの制作
合計	1,747	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ-2-(2)-③犯罪・交通事故防止の推進

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

安全で安心な社会の実現のために、警察活動の実態や諸施策を県民に正しく知らせ、かつ、安全確保に資する情報を提供することによって、警察への理解と協力を確保する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(H)	()	()	()	(H)	%
	(H)	()	()	()	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

警察への理解と協力を数値等の指標で示すことは困難である。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

(1) こどもけいさつ体験シリーズの実施

・こどもけいさつ絵画コンクール 154校 3,883点の応募

・夏休みこどもけいさつフェスティバル

新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(2) 警察音楽隊の活動

・第25回岐阜県警察音楽隊定期演奏会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

広報紙、マスコットグッズ等を作成して県民に広報した結果、警察への理解と協力が得られ、犯罪や交通事故の抑止に寄与している。こどもけいさつ絵画コンクールや警察音楽隊による演奏活動の動画配信等を実施し、県民と警察のふれあいを深めるとともに、明るく開かれた警察の姿をアピールして警察活動への理解を得ている。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	安全で安心な社会の実現のため、広報等による警察活動に対する県民の理解と協力の確保は欠くことのできないものであることから、必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	各種イベント等において、着ぐるみの登場は、イベント会場等での注目度が高く、着ぐるみを活用した広報啓発活動の効果は大きく、事業の成果はあがっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	効率的な警察広報を図るとともに、事業内容の見直しを行うなど効率化にも努めている。 新型コロナウイルス感染症対策により、ユーチューブによる動画配信やSNS等を利用した多元的な情報発信を行うなど、効率的な広報活動が実施できている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>県民との直接のふれあいを通じて警察活動に対する理解と協力を確保するために、フェスティバル等を継続していく一方で、昼夜を分かたず県民を守るために活動する警察の姿を広報し、県民から一層の理解と協力を得られるようにする必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>こどもけいさつ体験シリーズ、警察音楽隊活動（定期演奏会等）、その他の広報活動のあらゆる場での活用を図り、県民の安全・安心に直結する広報啓発活動に取り組んでいく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【 課 】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	

